

第34回

藤里町交通安全町民大会

11月11日、総合開発センターにおいて、第34回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、家庭・職場・地域から交通安全思想の普及に努め、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めることなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれているもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、100名余が参加しました。初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて佐々木町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した児童1名、優秀賞を受賞した2名を代表して淡路楓海さんが作文の朗読をしました。

そして、最後に藤里町交通安全母の会代表が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全作品コンクール

【作文の部】

《最優秀賞》

◇淡路楓海さん（藤里小学校1年）

「しいとべるとをしめるぞ」

《優秀賞》

◇夏井陵汰さん（藤里小学校2年）

「車に気をつけて」

◇小山羽音さん（藤里小学校3年）

「まもろう、交通ルール」

《入選》

◇福司虎河さん（藤里小学校2年）

「じてん車のりのあんぜん」

◇福司龍河さん（藤里小学校5年）

「気をつけよう、自転車乗り」

【ポスターの部】

《最優秀賞》

◇淡路菜那さん（藤里小学校5年）

「大切な命を 守ろうよ!!」

《優秀賞》

◇藤本夢羽さん（藤里小学校5年）

「全ての座席 シートベルト着用しよう」

◇三浦紗樹さん（藤里小学校5年）

「交通事故から 一人の命もうばうな」

《入選》

◇石岡未優さん（藤里小学校1年）

「かぞくの しあわせ こうつうあんぜん」

◇臼井陽菜さん（藤里小学校3年）

「チャイルドシート しめたかな」

◇佐々木朱さん（藤里小学校4年）

「チャイルドシートは命を守る!」

◇山田聖さん（藤里小学校6年）

「飲酒運転 軽い気持ちで命をうばう」

◇小田原耀大さん（藤里小学校6年）

「子ども、高れい者にやさしい運転」

作品介绍

『つづいふんをうめん』



淡路楓海さん

わたしかぞくは、やすみになると、くるまでかいものにつたり、おにいさんのやきゅうをみにいつたりします。おとうさんがうんでんをして、おかあさんがとなりになります。わたしとおにいさんは、うしろにすわります。まえのせきは、しいとべるとをしないで「びいびい」とずっとおとがなります。すぐくるさいので、おかあさんは、しいとべるとをします。うしろのせきは、しいとべるとをしめなくても、おとがならないから、わたしもおにいさんもしいとべるとはしません。すこしまえまでは、そつでした。

なつやすみに、わたしとおにいさんが、くるまのうしろにつて、ふざけてあそんでいたら、まどにあたたまをぶつけてしまいました。すると、おとうさんが、「きゅうにぶれいきをふんだり、くるまがぶつかつたりしたら、おとうさんとおかあさんは、しいとべるとをしているからだいじょうぶだけど、かいちとふうみは、まえのせきのこのがらすまできて、そとまでこんでいつちやうかもしれないだよ。だからしいとべるとは、ちゃんとしめないといけないんだよ。」といいました。わたしもおにいさんも、びつくりしました。いままで、なんかいも「うしろでも、しいとべるとして」といわれていたのに、すぐにわすれてしまっていたからです。

がつつでは、うつつあんぜんきょうしつがあつて、たくさんのおんげんをべんきょうしました。でも、くるまのなかにもおんげんがあるのは、はじめてでした。だから、おとうさんにいわれたときから、きちんとしいとべるとをしています。これからしいとべるとのうは、ぜつたいにまもろうとおもっています。だって、じぶんのいのちは、じぶんで